

## 基本施策への主な意見

第五期基本構想の基本施策の体系(案)

| 政策分野         | 政策配下の行政分野 |                 | 政策分野  | 政策配下の行政分野  |             |
|--------------|-----------|-----------------|-------|------------|-------------|
| 子育て・教育       | 1         | 子育て支援           | 都市基盤  | 18         | 道路          |
|              | 2         | 義務教育            |       | 19         | 交通          |
|              | 3         | 青少年育成           |       | 20         | 市街地整備       |
| 保健・福祉        | 4         | 健康・医療           |       | 21         | 南部地域整備      |
|              | 5         | 高齢者福祉           |       | 22         | 景観          |
|              | 6         | しょうがいしゃ福祉       |       | 23         | 下水道         |
|              | 7         | 地域福祉            |       | 24         | 商工業、観光      |
| 生涯学習・文化・スポーツ | 8         | 文化・芸術活動、歴史・文化遺産 | 産業    | 25         | 農業          |
|              | 9         | 生涯学習            |       | 26         | 情報公開と個人情報保護 |
|              | 10        | スポーツ・レクリエーション   | 自治体経営 | 27         | 市民協働        |
| 地域・安全        | 11        | 防災              |       | 28         | 男女平等・人権・平和  |
|              | 12        | 防犯              |       | 29         | 行政運営        |
|              | 13        | コミュニティ          |       | 30         | 財政運営        |
|              | 14        | 消費生活            | 31    | 公共施設マネジメント |             |
| 環境           | 15        | 環境保全            |       |            |             |
|              | 16        | 水とみどり           |       |            |             |
|              | 17        | ごみ処理            |       |            |             |

- 並び順について、～ が市民像実現のための施策、～ が都市像実現のための施策、～ がその手法となっており、良い。
- 基本施策の分野わけは、市の実行しやすい形でよい。
- ～ について、子どもたちが主体的に「子育て」するという要素が必要である。
- ～ について、ひきこもりなどが社会問題となっていることから、青少年の自立の支援という視点が必要である。
- ～ について、学習の促進と、教育施設・文化施設の整備は少し方向性が異なるため、整理が必要である。都市基盤の一環として教育・文化施設というところが出てきてもよいかもしれない。
- ～ について、貧困への対応が社会問題化しているため、対応が必要。
- ～ について、貧困・困窮への予防的な側面をもって、自立支援の視点が欠かせない。
- ～ について、「地域福祉」という表現がわかりにくいいため、変更すべきである。
- ～ について、生涯学習のところで市民に身近な施設である図書館や公民館といったところに力を入れてほしい。
- ～ について、歴史・文化遺産を整備していくことを忘れてはならない。また、市民がその存在を知り、誇りを持てるように啓発が必要である。
- ～ について、歴史・文化遺産は、景観とも深いかわりがある。
- ～ について、コミュニティは、減災にも深いかわりがあり、安心・安全の根幹である。コミュニティづくりの仕掛けを、行政が行うべきである。
- ～ について、新産業の育成という視点が欠けている。農商工観光をまとめて、新産業育成、産業振興、産業支援という整理はどうか。
- ～ について、観光を本気でやっていくのであれば、「観光」として一つの施策をつくるべきである。中途半端にやるべきではない。
- ～ について、観光はどの程度、市にとっての実益があるのかを十分に見定める必要がある。
- ～ について、農業は、農業単体として収益を上げていくのが、国立市では難しい部分があるため、観光との連携の視点が必要である。
- ～ について、ホームページが見にくい、市の情報が市民に伝わりにくいという点を改善するため、また市民、市外の人に市の良さをアピールするための施策（広報）があるべきである。広報は力を入れて行うべきである。
- ～ について、市民協働、あるいは広報の視点として、計画段階から情報を市民に出して意見を聞いていき、最後は行政が責任を持って決めるという姿勢が大切である。
- ～ について、行政同士の広域連携という視点が行政経営に必要である。

## 【次世代育成】（関連分野： 義務教育 子育て支援）

- 妊娠期から就学期にかけての子育て世帯を対象とする支援の充実
- 文教都市にふさわしい教育水準の向上
- 子育て世代に選ばれるべく、ターゲットを絞ったまちづくり

## 【ブランド力の強化・発信】（関連分野： 文化・芸術活動 観光 環境保全 景観 水とみどり）

- 文化、芸術分野や、景観、みどり等の国立市のブランドの把握と強化
- シビックプライドの醸成による住み続けたいまちづくり
- マーケティングの考え方に基づく情報発信と交流人口の増加

## 【安心・安全のまちづくり】（関連分野： 健康・医療 高齢者福祉 コミュニティ 防災 防犯）

- 地震や災害への対策の充実
- 犯罪の少ない治安のよいまちづくり
- 子どもから高齢者まで、すべての世代が心安らかに暮らし、まちで生き生きと活動し、子を育て、安心して老後を送ることができる・住み続けられる、安心・安全のまちづくり

## 「重点施策」（主要プロジェクト）への主な意見

- くには様々な意見をもっている方がいるまちであるため、市民参加でまちづくりを行っていくという理念を掲げることが必要である。
- 重点施策はあまりに広がりすぎてしまうと、収拾がつかなくなってしまう懸念がある。
- 基本施策にある「コミュニティ」と「広報」は様々なところに関わってくるので、横串としての整理も検討の余地がある。
- 広報は、世論調査などでも「弱い」とされている部分であり、重点的に取り組む必要がある。ブランド力としても情報の発信は必要である。
- 産業といった視点から、重点施策を整理することができる（次世代が育って、創業する、社会で成功する、産業界に人材を送り込む、産業を良くするなど）。
- 次世代育成は、本来もっと広い分野に関わりがある。青少年育成、産業、消費者教育、防災・防犯、スポーツなど。
- 次世代育成は、文教都市くにたちでどういうひとを育てていきたいかが問われる内容である。
- 次世代育成という言葉には、子どもを育てるということに加えて、お祭りの委員など次に地域を担っていく人を育てるという視点も含むべきである。
- 文化・芸術の部分は、教育とともに文教都市くにたちを担う部分であるため、もっと広がりをもってとらえることが必要である（単にブランド力の強化・発信にのみ位置づけてしまうのはもったいない）。
- 「教育水準の向上」という言葉ではなく、「教育環境の充実」とし、広がりを持たせるべきである。